

飯田 肇（富山県立山カルデラ砂防博物館学芸課長、富山県主幹）

■主な経歴

1955 茨城県生
1987 名古屋大学大学院理学研究科博士後期課程満了
黒部市吉田科学館主任学芸員
1995 富山県土木部博物館建設班主任
1998 富山県立山カルデラ砂防博物館主任学芸員
2003 富山県立山カルデラ砂防博物館学芸課長 現在に至る

専攻： 雪氷学

■主な活動

富山県立山カルデラ砂防博物館で、立山や立山カルデラの自然を中心テーマとして博物館活動を行っている。

調査研究として、立山地域の積雪、雪崩、気象調査を継続して実施。また、博物館研究チームとして2012年に日本初の現存する氷河を確認する。

1982年以来ヒマラヤ氷河学術調査隊（名古屋大学）に7回参加。また、日本山岳会カンチエンジュンガ登山隊（1984）、日本中国合同ナムチャバルワ登山隊（1992、日本山岳会）等に参加して、ヒマラヤの氷河・気象調査を実施。

■主な役職

（公社）日本雪氷学会北信越支部理事・副支部長 金沢大学非常勤講師
（独）国立登山研修所講師・専門調査委員会委員
（公社）日本山岳ガイド協会理事・特別委員会委員 環境省自然公園指導員
（公財）黒部市吉田科学館理事 （公財）黒部市国際文化センター評議員 等

■受賞等

文部大臣スポーツ功労賞（1992） 日本雪氷学会北信越支部大沼賞（2010）
国土交通省雪崩災害防止功労賞（2011） 北日本新聞文化賞特別賞（2012）
日本雪氷学会論文賞（2013） 秩父宮記念山岳賞（2005、2013） 等

■執筆（分担）

北アルプス大百科（TBSブリタニカ） 富山の自然再発見（北日本新聞社）
立山黒部100万年の輝き大いなる遺産（北日本新聞社） ビスタリ・ヒマラヤ（廣川書店）
トムラウシ山遭難はなぜ起きたのか（山と溪谷社） 等